

サーチ理論に基づく労働市場の研究

失業と賃金格差の経済分析

著:山上 俊彦

「サーチ理論」は人的資本理論とともに労働経済学の支柱となる理論。本書はサーチ理論に基づく労働市場分析の方法を解説するとともに、その後の理論、実証両面の発展について解説している。さらに日本の労働市場を対象としたシミュレーションと実証分析を収録。労働経済学を学ぶ学生、大学院生の参考書、研究者のハンドブックとなることを目指した一冊。

◆目次

序説 サーチ理論と労働市場

第Ⅰ部 失業と労働市場政策

第1章 サーチ理論と均衡失業率

第2章 労働市場政策と雇用保護立法の評価

第3章 サーチ理論による労働市場政策の評価

第4章 サーチ理論による雇用調整助成金の効果分析

第5章 サーチ理論と転職行動

第Ⅱ部 賃金構造と格差

第6章 サーチ理論と賃金格差

第7章 サーチ理論と賃金構造

第8章 サーチ理論に基づく賃金格差の実証分析

結章 総括及び今後の展望



◆著者紹介

山上 俊彦

1957年生まれ、1981年京都大学経済学部卒業、1988年ウィスコンシン大学ミルウォーキー校大学院修士課程卒業。1993年～2004年金融系シンクタンクにて労働問題、社会保障問題、金融問題の研究に従事、2005年～2022年日本福祉大学経済学部教授、労働経済学、統計学専攻。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	著：山上俊彦 サーチ理論に基づく労働市場の研究 352頁 / A5判 / ソフトカバー 定価 3,080円 (税込) ISBN978-4-86693-863-9
ご注文は、JRCへ FAX03-3294-2177 (TEL: 03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。